



発行所  
学習院大学新聞社  
〒171-8588 東京都豊島区  
目白1丁目5番1号  
黎明会館316号室

発行・編集人 横山 浩人  
年間500円



23 学習院生が教える  
コロナ禍の大学  
コロナ禍の大学生活、新入生にとっ  
ては戸惑いも多いだろう。新入生は  
この特集を読み、大学生活のイメー  
ジをつかんでもらいたい。

## 紙面紹介

4 本学OG  
西川文野さんインタビュー  
文化放送でアナウンサーとし  
て活躍する、本学OGの西川  
さん。一歩踏み出すことの  
大切さを語ってくれた。

学習院大学新聞社



@gakushuinpress

一緒に新聞を  
作りませんか？  
新入部員随時募集中！  
気軽に follow me!

# 音は映像を連れてくる



## 本学OBインタビュー

ラジオドラマ脚本家  
きた さか まさと  
北阪昌人さん

## 積み重ねた経験が 実を結ぶ

JFN系『NISSAN  
あ、安部礼司』をはじめ  
1000作品以上のラジオ  
ドラマを手掛けてきた、ラ  
ジオドラマ脚本家の北阪昌  
人さん。ラジオドラマの公  
開収録イベントでは、3万  
人以上の動員を果たし、  
「世界でいちばん長いラジ  
オドラマ」でギネス記録に  
登録されるなど、華々しい  
活躍をされている。  
聴く人の心を動かすラジ  
オドラマ。テレビドラマと  
は違って映像がないため  
に、主人公の人物像や情  
景を、聴いている人自ら、頭  
の中に作ることができるの  
が、魅力の一つである。北  
阪さんが感じる、ラジオド  
ラマ脚本家としてのやりが  
いもそこにあるとのこと。  
「自分が脚本を書いた作品  
に対して、聴いている人

が頭の中で紡いで、たっ  
た一つの映像を描いてもら  
えるというところは、幸せ  
びを感じます。」  
また、ラジオドラマを聴  
いてくれた人からの反応  
も、仕事の原動力になる  
という。番組を聴いた人によ  
る、Twitterやメー  
ルでの反応は、北阪さんの  
ものにも届くようだ。「す  
ぐにお客様に喜んでもら  
える仕事は、世の中でそう  
ないと思います。」  
そして、脚本を書き終  
えた際に、スケジュールノ  
ーに書かれたタスクの文字  
に線を引く時の達成感も、  
北阪さんを支えている。  
ただ、大変なことも多  
い。ものを書く仕事は、ア  
イディアが枯渇したら終わ  
ってしまう恐怖がある。ア  
イディアを枯渇させないため

に、毎日のできごとを日々  
インプットすることは、怠  
らない。また、締め切りが  
迫っている時は、追い詰め  
られた気持ちにもなるとい  
う。夜眠れないことも、  
度々あるようだ。  
小中学生の頃、友達同士  
で遊んでいても、自分の居  
場所と違和感を覚えていた  
という北阪さん。そんな先  
生を救ったのは、小説やテ  
レビドラマなどのフィクシ  
ョンだった。「太宰治の本を  
読むと、自分と同じことを  
考えている人が、世の中に  
いる」と安堵することが  
できました。現実の辛い  
こと、嫌なことを忘れられ  
たという。そのため、いつ  
かフィクションに対して、  
「恩返しをしたい」という  
気持ちがあり、ラジオドラ  
マ脚本家を志すきっかけに  
なりました。  
本学文学部ドイツ文学科  
(当時)に入学すると、住  
み込みで新聞配達を始め  
た。寮には、大学生だけ  
なく、浪人生、専門学校生  
や劇団に通う人なども住  
んでいたという。「それぞ



大学4年のゼミ合宿にて

様々な事情や夢を抱えて  
いるという話を18歳で知  
ることができたのは、大き  
かったですね」と学生時代に  
思いを馳せた。この経験  
が、今の北阪さんを形作  
っている。新聞配達のアル  
バイト、学業など、この頃  
から時間には追われていた。  
今では時間を有効活用で  
きるようになったという。そ  
して、一生懸命働いたと  
で、お金の大切さを痛感し  
たそうだ。「夢と現実とは  
輪でなければ長続きしな  
いことを学びました。」  
大学を卒業後、出版社に  
入社した。ここで営業職の  
経験も培ったことも、創作  
活動に活かしているそう。  
北阪さんは、「脚本を想像  
ですべて書くことがで  
きればいいですが、そ  
れができる人は少ない  
」と思っています。脚本家が  
体験してきたことや、  
見聞きしたことがベ  
スになるので、リアル  
な何かを手にとおく  
ことはとても大切な  
ことだと述べてた。  
15年間続いている長寿



女優の木村多江さんと北阪さん（ラジオドラマの収録現場にて）

取材 横山 浩人  
鈴木 沙里  
宮崎 黎  
野沢 竜太  
東久保海仁

PROFILE  
大阪府生まれ。1985年、本学文学部ドイツ文学科を卒業。その後、出版社勤務を経て、ラジオドラマ脚本家へ。多岐にわたるジャンルで、数多くの脚本を執筆。次世代の育成を志す。

## ラジオドラマのこれから

東京作家大学にてラジオドラマ  
セミナークラスを受け持つ、『ラ  
ジオドラマ脚本入門』という本を  
執筆する北阪さん。ラジオドラマ脚本  
家の育成にも携わる北阪さん。  
「ラジオドラマと自身のこれか  
ら」について伺った。  
北阪さんが今後、挑戦したい脚  
本のジャンルについて尋ねると、  
それは「人間ではないモノ」を  
題材にしたラジオドラマだとい  
う。聴いた人に「モノ」に対する  
愛おしさを、より感じてほしいと  
思います」と述べた。また、「来週  
が待ち遠しくなるような、続きも  
のドラマも制作したい」との夢  
も教えてくれた。  
「これからのラジオドラマに求  
められるもの」に問われると、北  
阪さんは「10分程度の時間で、ど  
れだけ楽しめて、ためになり、感  
動できるものか、という戦いにな  
る気がします」と語った。短い動  
画・映像メディアに慣れた現代人  
の好みに合わせた作品が求められ  
ていく。

「人間は強いものには、共  
感を覚えません。お金持ち  
でかっこよくて、優しい  
彼女がいる男の話よりも  
、昨日ふられた男の話の方が  
、というふうな男の話の方が  
、聞き手になるのです。」  
このような人間の心理につ  
いても、ラジオドラマを書  
くときは意識するようだ。  
「ラジオは最高の想像力  
の訓練機関」と語る北阪  
さん。SNSやスマートフォン  
が普及し便利になった反  
面、ものごとを想像するよ  
うな機会が大きく減ったよ  
うに感じる。この時代に想  
像力を培うために、北阪  
さんは「ラジオを聴き、聴  
覚を使ってほしい」と訴え  
る。音には、人々の頭の中  
に映像を作りだす力がある  
。「脚本塾で、最初に私が  
言うのは、音は映像を連れ  
てくるということです。何  
かが割れる音を聞いたとき  
に、お皿かな、コップか  
な、など想像する  
と思いますが、音一つで  
その世界は見えてきます。」  
インターネットの普及  
は、ラジオに新しい価値を  
付与している。近年は、ア  
プリでラジオ聴きながら、  
SNSにより、自分の好き  
な番組を、他者とリアルタ  
イムで共有できるようにな  
った。北阪さんによれば、  
ラジオドラマについても、  
フィクション、設定  
時間などに縛られず作れ  
るようになってきたとい  
う。「最近はお風呂に入  
っている10分間に聞いてほ  
しい作品を女性向けに書き  
ました。短時間で聴けるラ  
ジオドラマも、実は多いで  
す」と述べた。  
最後に、我々大学生に向  
けたメッセージをいただ  
いた。北阪さんは「晴れを祈  
って雨を憎むのではなく、  
雨の中でどう行動すればよ  
いかを考えたほうが良いで  
す」と語った。コロナ禍に  
より行動を制約されている  
大学生は不満を感じるこ  
ともあるだろう。しかし、現  
状をただ嘆くだけでは心を  
豊かにできない。少なくと  
も、今の状況で何ができ  
るか。大学生は考える必要が  
ある。それを考えることが  
できる人は、大きな成果を  
成し遂げるための基礎を築  
けるのだ。

北阪さんは「自分の身の  
丈以上のものを消化するの  
は本当に時間がかかりま  
す」とも述べた。自虐を迫  
られてはいるが、全てに当  
てはまる言葉ではないだろ  
うか。  
しかし、このような時  
だからこそ、自分を見つめ  
なおさねばならない。北阪  
さんによれば、音は人の記憶  
を呼び起こす効果もある  
という。音を聞くだけで、小  
さい頃の出来事を思い出す  
こともあるだろう。ラジオ  
ドラマを通して、自分の過  
去を見つめなおすこともで  
きるのではないだろうか。  
ラジオドラマは人々の想  
像力を高める力がある。ラ  
ジオドラマを聴くことで養  
われた力は、将来の夢を現  
実させる基礎となるに違  
いない。このような時代だ  
からこそ、ラジオドラマを  
通して、ぜひ心を豊かに  
してほしい。

# OUYUKAI Anniversary

## 学習院同窓会桜友会は、設立100周年を迎えました。

大正10(1921)年»令和3(2021)年

### 新入生の皆さん、入学おめでとう！桜友会は皆さんを応援しています。

学習院桜友会は、学校法人学習院を構成する、大学(大学院含む)、女子大学、高等科・中等科、女子高等科・中等科、初等科、幼稚園、8校共通の同窓会組織です。中退者も含めた学習院で学んだ全員が会員で、現在その数は国内外80支部14万人を数えます。

前へ、次へ、その先へ。

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院百周年記念会館内 TEL. 03-3988-3288 FAX. 03-3988-3853  
<https://www.gakushuin-ouyukai.jp/info/>



## オンライン授業 経験者の声

感染症の影響から、昨年度、大部分がオンライン授業。今年度もオンライン授業を受ける場面が多いと予測される。その中でも、オンライン形式は、授業時間が短くなるものが多い。授業時間については、通常、1コマ45分程度。オンライン授業は、1コマ30分程度。授業時間が短くなるのは、デメリットの一つである。一方で、授業時間が短くなるのは、メリットの一つである。授業時間が短くなるのは、デメリットの一つである。一方で、授業時間が短くなるのは、メリットの一つである。



## キャンパスを彩るイベント



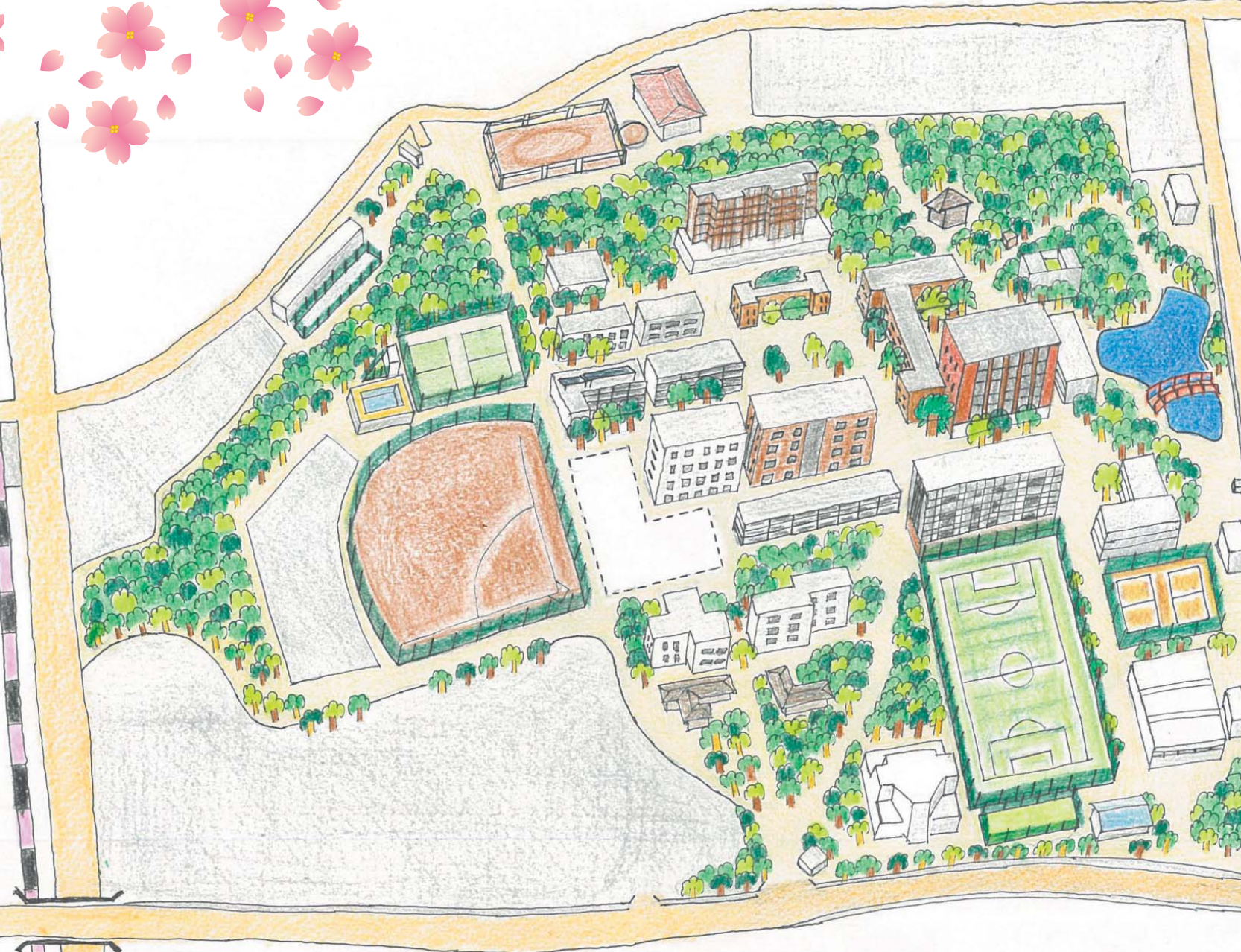
スカイサウンズジャズオーケストラ部の演奏  
第50回桜祭OP

## 緑豊かなキャンパスと 研究に最適な施設



オンライン授業は、個人作業が多くなる。その一方で、自分のペースで学習できるというメリットがある。また、授業の録画機能があるため、授業を見逃したとしても、後から視聴できるというメリットがある。一方で、授業の録画機能があるため、授業を見逃したとしても、後から視聴できるというメリットがある。

## 新年度を準備万端で迎えよう



レポート作成の第一歩。レポート作成は、大学生活の重要なスキルの一つである。レポートを作成する際には、まず、テーマを決める必要がある。次に、関連する資料を収集し、整理する必要がある。最後に、レポートを書く必要がある。

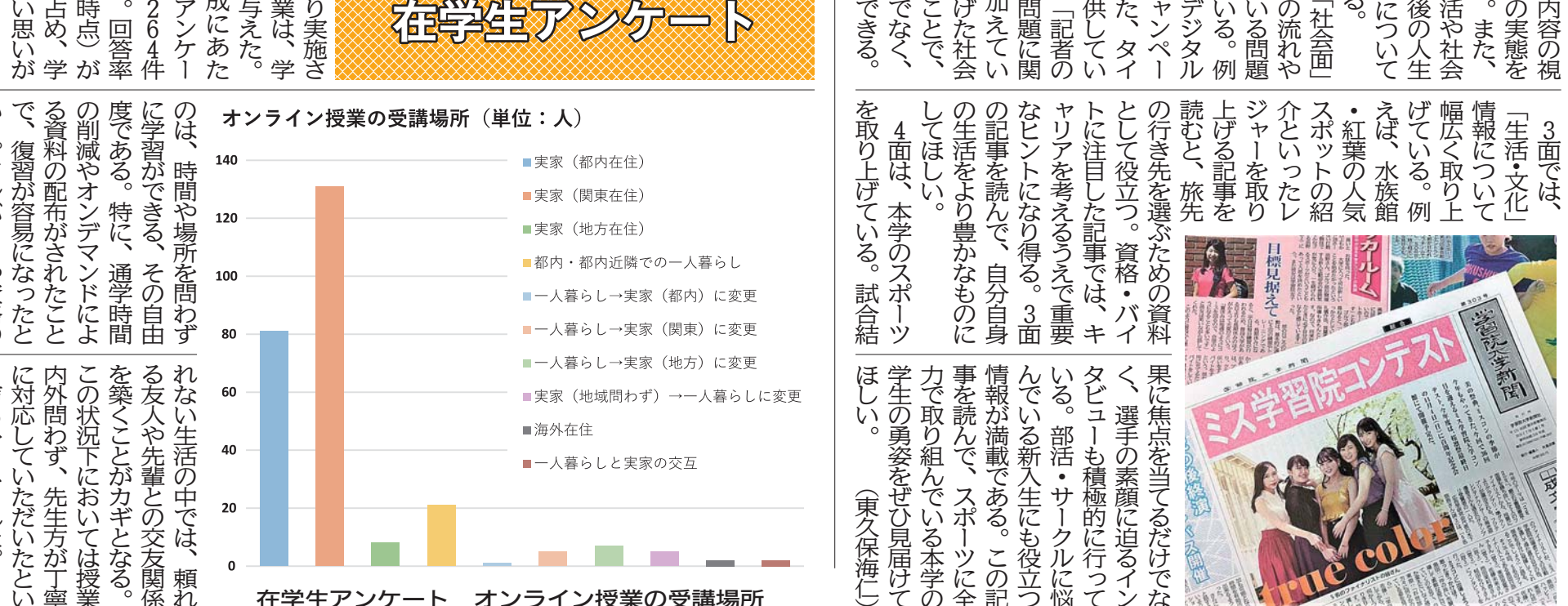
## 学習院生が教えるコロナ禍の大学

オンライン授業の受講場所。オンライン授業の受講場所は、主に自宅である。しかし、一部の学生は、大学の図書館やカフェなどを利用している。また、一部の学生は、オンライン授業を受講しながら、他の学生と交流している。

## 時間は上手に使おう！ 大学生活は有意義に

大学生活は、多くの学生にとって、有意義な時間である。しかし、大学生活は、多くの学生にとって、有意義な時間である。しかし、大学生活は、多くの学生にとって、有意義な時間である。

## オンライン授業は どう受けた？ 在学生アンケート



## 新聞社社員おすすめスポット！ 郵便切手の聖地 切手の博物館



ラグビー部は、大学生活を想像以上にする。仲間力と、自分自身の肉体だけで。心と心のぶつかり合いがそこにはある。「挑戦するか」「しないか」選択肢は君の心にある。他のスポーツのように、ヘルメットを被って見えない世界がある。

心を燃やせ。共に戦おう。



心を燃やせ。共に戦おう。

学習院さくらアカデミー  
MOS資格取得対策WEB講座  
【Word・Excel・PowerPointの2016版・365&2019版対象】  
申込受付中 詳しくはHPから⇒

心を燃やせ。共に戦おう。



# 一歩踏み出し、新たな世界へ

～勇気が広げる可能性～



## 本学OGインタビュー

アナウンサー  
にし かわ あや の  
**西川文野さん**

PROFILE  
東京都出身。青山学院女子短期大学国文学部卒業後、本学文学部日語日本文学科に編入学。2015年4月に文化放送に入社し、アナウンサーとしてさまざまな分野で活躍。担当番組は、『くにまニッポン』『SDGs Voice』など。宗次郎 オカリナからの森から。

## 太宰治がのこした言葉

小学生の頃から読書好きだったという西川さん。小説やノンフィクション小説、そして漫画、幅広く読書を嗜んでいた彼女が、とりわけ好んでいた作家は日本近代文学における文豪の一人、太宰治である。西川さんが彼の作品から受けた影響は非常に大きい。青山学院女子短期大学の卒業論文の研究テーマでは、『道化の華』の研究について、その中でも『人間失格』を取り上げた。卒業論文の粗筋は、太宰が上記二つの作品で語った「偽善や道化」と、アーヴィング・ゴッマンという社会学者の、人の行動は全て演技と行動に分けられるという「ドラマツルギー理論」を重ねたものであった。つまり、人が他人に気に入られるためにする演技（偽善や道化）の重要性についての研究である。

この研究で太宰から得たものは、現在においても彼女の基本的な物の考え方に関係している。それは「一人の本質を見極めること」である。相手が自分を騙そうとしているか、本心で話しているかなど、意識的に考えるようにしている。それは決して嫌な姿勢ではなく、むしろ相手を心から好きになれたり、興味を持てたりすることに繋がっている。対話を主とする仕事をするアナウンサーにとって必要不可欠な素質として役立っているそう。

そんな太宰治の作品の中でも、特に西川さんが気に入っているのが、前述の『人間失格』である。『人間失格』という作家の本音が入水自殺をする前に残した作品として「遺書」とも形容されることのある作品だ。しかし意外にも彼女はこの作品に登場する言葉大切にしている。ただ、一さいは過ぎるべきです」という言葉である。大概のことは悩まなかり、次の課題を見られます。時間が解決してくれるとよく言います。それは甘えといえるが、もうこうな学生時代も切り替えていかなければい

手か、本心で話しているかなど、意識的に考えるようにしている。それは決して嫌な姿勢ではなく、むしろ相手を心から好きになれたり、興味を持てたりすることに繋がっている。対話を主とする仕事をするアナウンサーにとって必要不可欠な素質として役立っているそう。

我々の中に感嘆症候群の影がうまうま広がったとか、就職活動がうまうま広がったとか、大学院に行きたかったとか、勉強がだめだったとか、そういう時にこの言葉があれば次を見られる、切り替えができる、また頑張りが始められます」と、この言葉の持つ力について熱く語ってくれた。



編集長の  
ひとりごと

「春は、出会いと別れの季節」とよく言うが、それはラジオの世界でも同じである。番組改編の時期だから10代前半からラジオを聴き始めた私。私の考えるラジオのよさは、「パーソナリティとリスナーの距離の近さ」と「程よく狭いコミュニティ」だ。毎日同じ放送局を聴いていれば「このラジオネームの人、聴いたことがある」「なんてことも珍しくない。一言で言えば、ラジオの世界は「心の公園」みたいなものかもしれない。みんなが気軽にスイッチをいれて、Twitterやメールで番組に参加する。生放送であれば、その時の番組進行にマッチする曲をディレクターが流し、音楽で心を共にする。とあるリスナーから寄せられた人生相談に、▼局や番組によるが、ラジオの世界では、リスナーも番組を作る上での重要なファクターだ、と私は考える。テレビとは違い、パーソナリティ、スタッフ、リスナーの歯車が噛み合っていないと、ラジオの世界は作りに出せない。そして、映像がないラジオの世界に飛び交うのは、音楽と言葉だけ。優しい響きの言葉が、心地よく聴こえてくる。この世界は、現実で心にくさを負った人の「最高の治療薬」なのかもしれない▼今号では、一面にラジオドラマ脚本家の北原昌人さん、4面に文化放送アナウンサーの西川文野さんへのインタビューを掲載している。これらの記事をきっかけに、ラジオの世界に足を踏み入れる人がいれば、嬉しい限りだ。

## 充実した学生時代

今回は本学の卒業生であり、現在文化放送のアナウンサーとして活躍されている西川文野さんにお話を伺った。

西川さんが声を活かす仕事にはじめて興味を持ったのは小学生のころ。国語の授業で、句点まで文を読め、言葉がつかえたら次の人と交替する「まる読み」がきっかけであった。大勢の人の中、大声で音読することに高揚感を感じたそう。しかし、このころはアナウンサーよりもレポーターの仕事にこれが活かせるという西川さん。

「結果ラジオ局に入社することになったので、その時想像していた未来と近いところにいるかもしれない」と振り返った。

「編入学」という経緯、西川さんは高校卒業後、青山学院女子短期大学に入学し、3年次に本学文学部日語日本文学科に編入学した。日本の近代文学をもっと学びたいという思いから、編入学という道を選んだそう。「知り合いが誰もいなかったため、はじめはとても辛い思いをしましたが、でも、講義でたまに隣の席に座った人などに、自分が編入学であることを明かして積極的に話しかけたら、皆すぐに仲間にしてくれた。今でもSNSで連絡を取り合っている。誰と仲良くなつたかあまり難しく考えすぎず、積極的に話しかけることが大切だ」という。

日本の近代文学に深い関心を持っていた西川さん。本学文学部日語日本文学科で学んだことが今も役立つという。最も印象



水上スキー部マネージャー時代

に残っている授業として挙げたのは、中山昭彦先生による「近代の日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

短期大学のころは編入学の準備で忙しく、学生らしいことができなかったという彼女。本学入学後は、活動の幅を広げたいという思いから、水上スキー部にマネージャーとして入部した。「編入学のため必修の授業も多く、単位をとった試験を受けたら、とても大変でした。でも水上スキー部に入って、茨城県や秋田県の大会に行ったり、朝早く起き

て部員のサポートをしたりすることが印象に残っています。近代的な日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

しかし、再びアナウンサーになったという気持ちに強くなったという西川さん。就職活動をする中で、アナウンサーという仕事の面白さを感じたという。改めてアナウンサーを志し、3年生になったからアナウンサースクールに通いはじめた。自身の予定と就職試験の日程を見ながら就職活動をしていく中で、結局、就職活動は巡り合わせで考えていたという。このころは、アナウンサーになりたいという気持ちで、会社に就いて学ばないといけないという気持ちで、会社員を目指していた。自分も東京の企業に受けて、アナウンサーを志してから地方の局は受けなかった。数ある放送局の中で、ラジオ局を目指した理由について、「昔からレポーターになりたかったというのもあり、アナウンサーの就職のためにカメラストの練習をしたとき、カメラが自分に向けられることが怖いと感じていました。これでは言葉遊びや伝言の

## 好きなことを大切に

今年でアナウンサーという職に就いて6年目となる西川さんにとって、仕事のやりがいは、幅広い知識が身につく、色んな分野について勉強できることだ。西川さんは今までニュース番組から野球の中継、図画、女性アイドル、落語、焼酎など多種多様なジャンルの番組に関わった。一「焼酎の番組では、原料である芋や麦、蒸留時にかけると感じる奥深い内容について知ることができ



在学中、本学キャンパスにて

た。でも水上スキー部に入って、茨城県や秋田県の大会に行ったり、朝早く起きて部員のサポートをしたりすることが印象に残っています。近代的な日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

短期大学のころは編入学の準備で忙しく、学生らしいことができなかったという彼女。本学入学後は、活動の幅を広げたいという思いから、水上スキー部にマネージャーとして入部した。「編入学のため必修の授業も多く、単位をとった試験を受けたら、とても大変でした。でも水上スキー部に入って、茨城県や秋田県の大会に行ったり、朝早く起きて部員のサポートをしたりすることが印象に残っています。近代的な日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

た。でも水上スキー部に入って、茨城県や秋田県の大会に行ったり、朝早く起きて部員のサポートをしたりすることが印象に残っています。近代的な日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

た。でも水上スキー部に入って、茨城県や秋田県の大会に行ったり、朝早く起きて部員のサポートをしたりすることが印象に残っています。近代的な日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

た。でも水上スキー部に入って、茨城県や秋田県の大会に行ったり、朝早く起きて部員のサポートをしたりすることが印象に残っています。近代的な日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

た。でも水上スキー部に入って、茨城県や秋田県の大会に行ったり、朝早く起きて部員のサポートをしたりすることが印象に残っています。近代的な日本文学作品の映画化について取り扱う」という授業。「川端康成の『雪国』や『千鶴子』という映画や、小津安二郎の映画をたくさん見ました。特に小津安二郎はこの授業をきっかけに、はまってしまっ、自分でDVDも買いました。このことで50代60代の方とお話が盛り上がることもあるので、中山先生から教えるもつて本当によかったと思っています。」

## 学習院大学輔仁会弓道部 新入部員募集中！！



- ・活動日：男子練 火、木 17:00～  
女子・女子大練 水、金 17:00～  
合同練 土 13:30～
- ・コロナウィルスの影響により活動日が異なる場合があります。
- ・活動場所：富士見会館6階（弓道場）
- ・twitter：@kyudo\_gakushuin
- ・instagram：@kyudo\_gakushuin
- ・初心者も大歓迎ですのでお気軽にご連絡ください！！



黎明  
322

## 鉄道研究会

てつどうけんきゅうかい

部員

募集中

Twitter:@GRFC322

部室:黎明会館322号室